



## 研究目的

近年、紅花を扱った活動が注目され、米沢市でもプロジェクトを活発に行っている。課題として紅花が日常的には未だ馴染み深い花ではないこと、限られた活用法しか知られていないことがあげられる。よって、広げ深めていく足がかりを作るためイベントを行った。

## 仮説

- SNSを使った宣伝の方が効果的
- イベントを通して紅花の多様な活用方法を知っていただけなのではないか  
→現在知られている活用方法には何があるのか
- **開花時期が限られているために身近に感じられないのではないか**

## → 紅花フェア！

1. 紅花染め: 紅花活用方法の代名詞
2. 紅花ペーパーフラワー: 1年中紅花を見て楽しむことができる



## 紅花の認知度調査について

11月に開催したイベントで紅花の知名度に関するアンケートを行った。今回は回答者が少なく、有効なデータが得られなかったため今後の活動で収集を行い、より良いイベントを行いたい。

## 結果

- イベントを通してたくさんの方の笑顔を見ることができた
- ペーパーフラワーという新たな楽しみ方を認知してもらえた
- SNSは利用者の層が限られている為、県内外の幅広い年代層への情報の発信ができなかった。
- 準備の都合などにより多様な活用方法を紹介することができなかった  
→多様な活用方法を体験できる活動の開催・継続

## 今後の展望

- 地域の企業の方との協力 例) 紅花音羽屋
- 様々な分野から紅花の魅力を伝える 例) 食べ物としての利用
- 紅花の新たな活用法の考案 (高校生ならではのものなど)

紅花は他にも活用法がある。様々な分野から紅花を広めることで、もっと紅花の魅力を伝えることができる！

今後の活動にあたって 早期に協力してくださる方と連携をとり、紅花と他の要素を組み合わせるなどして人々に伝えやすくしたい。